

AS00080325-31 接触解析の隙間

龍馬

例1は、剛体（金属）と変形体（ゴムを想定）の2物体の上を変形体（ゴム想定）が滑る状況を表現した。その時、気をつけないと誤の例で示したように吸い込まれることがあります。これは解離のしきい値を変更することで回避できます。

同様に例2のように、一度接触するとくっついて離れないこともあります。

こゝも解離のしきい値でコントロール出来、のり付け機能（GLUE）とは異なりすべることを利用しては如何でしょうか。

